

ジョリパット不燃
JQ-200シリーズ
玉石校倉R仕上げ
施工の手引き

平成23年 3月【初版】
令和2年2月【改訂】

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材 料	品 番	概 要	荷 姿	一缶あたりの 標準施工面積
シーラー	ジヨリハットシーラー JS-500	水性タイプアクリル系 1液型透明シーラー	18kg/角缶	約514m ² /缶
主 材	ジヨリハット不燃 JQ-200シリーズ 標準色 JQ-200T□□□□ (□…数字) 特注色 JQ-200△○○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg/ペール缶	約9m ² /缶
骨 材	JF-1 JF-3 JF-72	寒水石1厘 寒水石3厘 玉石桃山	20kg/袋 20kg/袋 20kg/袋	約26m ² /袋 約17m ² /袋 約133m ² /袋
専用ローラー	JR-189	校倉R専用ローラー	—	—
入隅施工用 専用シート	JR-189S	校倉R入隅用シート	—	—
転写液	JT-180	専用シリコンオイル	1kg/缶	約13m ² /缶

< 主な施工道具 >

- ・ 金ゴテ
- ・ タイルガン 口径 10mm
- ・ リシガン 口径 4～6mm
- ・ コンプレッサー 2.2kW(3馬力)以上 (1台使用の場合)
- ・ 霧吹き(転写液噴霧用) キャニオンスプレーSAN2439(推奨)
- ・ 専用ローラー (JR-189)
- ・ 入隅施工用専用シート(JR-189S)

< 下地調整 >

下地は、モルタル金ゴテ押さえ(平滑)として下さい。

<玉石校倉R仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	18ℓ
塗 布 量	0.07kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

2. 主材 下吹き

配 合	JQ-200シリーズ	20kg
	清 水	2~3ℓ
塗 布 量	0.6kg/m ²	
吹 圧 力	5~7kgf/cm ²	
施工道具	リシンガン 口径φ4~6mm できるだけ平滑になるように吹き付ける。 凹凸が激しい場合、仕上がりが悪くなります。	

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 上吹き

配 合	JQ-200シリーズ	20kg
	JF-1	10kg
	JF-3	15kg
	JF-72	2kg
	清 水	2.0~2.5ℓ
塗 布 量	約3.5kg/m ²	
施工道具	万能ガン 口径φ10mm 万能ガンにて小粒状に吹く。(詰めて吹く)	

追かけ塗り(5分以内)

追かけ塗り（5分以内）

4. パターン付け

- ・塗膜に転写液JT-180をローラー又はスプレーで塗布する(図1)。
- ・専用ローラーJR-189に転写液JT-180を塗布する(図2)。
- ・配り塗りしたジョリパットが乾燥しないうちに、JR-189を横方向に転がしパターン付けを行う(図3)。

夏期36時間以上

冬期48時間以上

※転写液JT-180は乾燥が遅いため養生は十分にとってください。

< 施工のポイント >

- ・ 塗膜に転写液 JT-180 をローラー又はスプレーにて塗布する。
ローラーで塗布する場合は中毛ローラー、短毛ローラーを用いて全面に塗布する。
塗布ムラをなくす為十字にローラーを転がす。

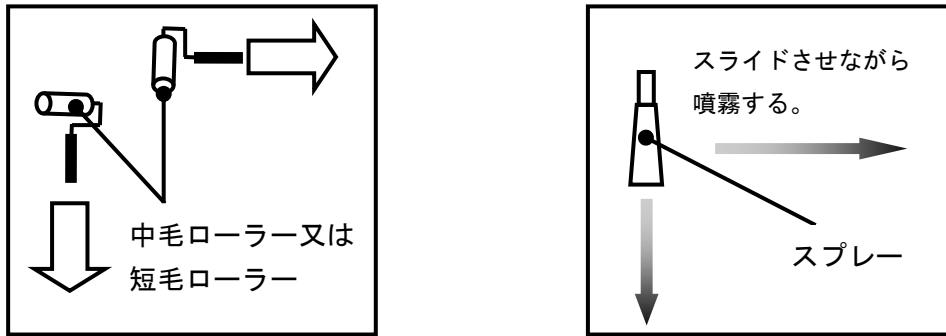
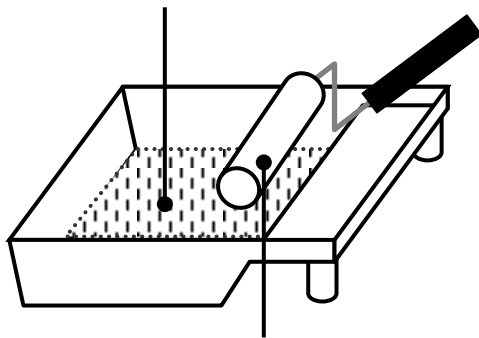


図 1

- ・ 専用ローラー JR-189 に転写液 JT-180 を充分塗布する。

転写液 (JT-180)



JR-189 (校倉 R 専用ローラー)

転写液 (JT-180)

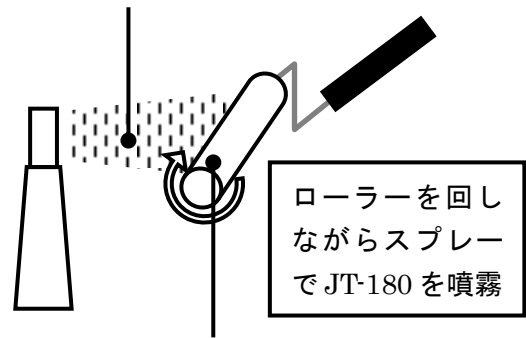


図 2

- ・ ローラーは、縦横方向(ランダム)に転がす。
- ・ 隣のパターンと5～10cm程度、交差するようにローラーを転がす。(図3)

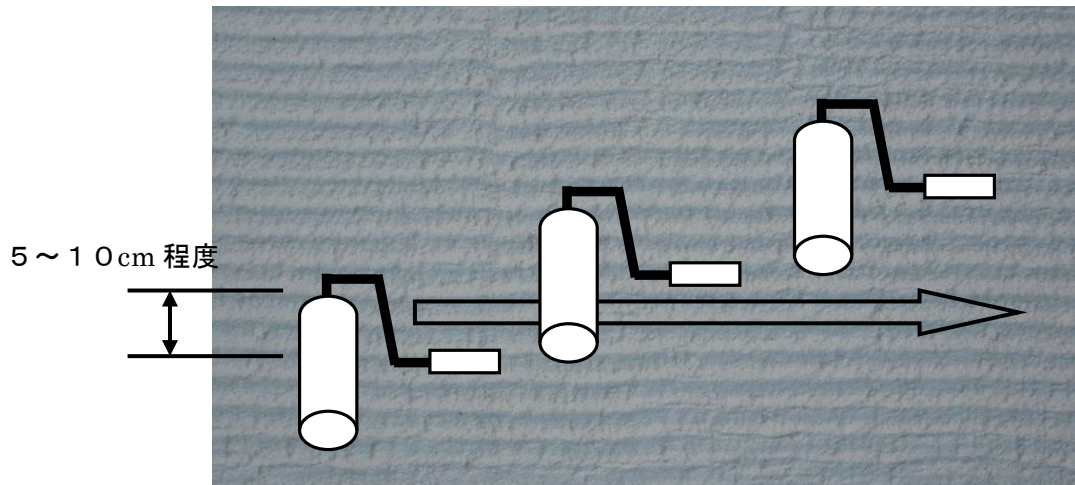


図3

・ 入れ隅の施工方法

専用シート(JR-189S)に転写液を十分に塗布する。現場にある空き缶など巻きつけてパターン付けを行う(写真左)。シートを壁面に押し付けパターン付けを行うことも可能(写真右)。



写真 入隅シートの使用例

＜施工の注意事項＞

- ・ 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行い、気温5℃以上、湿度85%未満として下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。また、事前に見本板でも仕上がり等の確認を行って下さい。
- ・ 配り塗りは、均一に塗布して下さい。塗布量が少ないとパターンがでません。
- ・ 転写液は十分に専用ローラーに塗布して下さい。転写液を十分に塗布しない場合、ローラーにジョリパットが付着しパターンがでません。
- ・ 転写液を過剰に使用すると、塗膜の乾燥が遅くなります。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めて下さい。
- ・ 転写液JT-180が床などに飛散した場合、非常に滑りやすくなるので転倒にご注意下さい。
- ・ 施工の際は臭気等のトラブルを防ぐため、事前に近隣への案内等に配慮して下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤等で有機溶剤が含まれる場合は、特に防毒マスクを着用して下さい。また、必要に応じて保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- ・ 器具を洗浄した水を河川、側溝への施流は避けて下さい。
- ・ 転写液JT-180を噴霧する際は保護具を着用し、吸い込みのないようご注意ください。
- ・ 転写液JT-180を噴霧する際は溶剤を噴霧可能な霧吹きをご使用下さい。一般的な霧吹きを使用した場合、霧状に噴霧することが出来ない場合があります。
- ・ ローラーは使用後速やかに洗浄してください。洗浄の際は中性洗剤を使用してください。

以 上